

「最高学年らしさ」とは

1月9日（金）と、1月14日（水）に、西藤保育所の園児（年長）との交流会を行いました。9日は、2学期に収穫したお米をプレゼントし、14日は西藤小学校に来た園児と一緒に凧揚げやドッジボールをして遊びました。

この活動のねらいの1つとして、「最高学年としての自覚を高めること」があります。来年度、子供たちが進級して最初の大きな役割は、荷物の整理や登校班での声掛けなど、新入生の生活を支援することです。それを実感する1つのきっかけになったのではないかと思います。



上の写真は9日に保育所を訪問した際のものです。時間は短かったですが、その中で、自己紹介やインタビューを行いました。園児が言ったことに対して「そうなんだ!」「すごいね!」と反応しながら聞いている子が多く、最高学年らしい姿だと感じました。また、保育所の先生は、「普段、表情が硬い子が笑顔になっていてびっくりしました。」とおっしゃっていました。



下の写真は14日に西藤小学校で交流している際のものです。凧揚げする園児と並走したり、一緒にドッジボールをしたりしました。凧揚げで途中に休憩をとってあげたり、ドッジボールを投げる強さを考えたりするなど、園児のことを思って行動していました。



1月27日（火）は、入学説明会があり、5年生が1時間、新入生と活動をして過ごします。「何をしたら喜んでもらえるか。」「新入生が安心して入学するためにはどうすればいいか。」など、今回の交流も踏まえながらしっかりと考えてほしいと思います。